

あすなろ

No 3 38. 11. 25 発行所 釧路アスナロクラブ編集部

目次

- 1. クラブの歩み(その3)
- 1. セールスマン心得帳(その2)
- 1. 緑 滴
- 2. 商品のマーケティング
- 2. 実務から見た商品管理の留意点について
- 3. 台湾を旅して
- 3. ビールについて
- 3. 身辺雑記
- 4. そばと物価論
- 4. 私と映画

アスナロ クラブの歩み

(その三)

当クラブも異色ある存在として、いよいよ活動期に入り、会員相互の理解も一段と深まって、例会等の出席率もともに向上し、研修、見学の行事も盛り上りを見せている事は誠に喜ばしき限りである。

記

一、第四回例会、八月十五日夜六時於泉屋(ドシャ降りの雨)十一名 談話者、小林時計店、流行の先端を行く装飾品として貴重品の認識を深め大いに参考となる。

二、自衛隊一日入隊見学について、八月十七日自午後一時、至翌午前中参加隊員、小林、今田、儀儀、梶、横地、池ヶ谷、松田、安藤、葛、佐川、貝、最上、佐々木、十三名、規律ある一日を有意義に送った。(体験記は別項に記載) 三、八ミリ映画録音構成打合せ、八月二十一日午後八時、於グリーン

確固たる 信念をもつて

信念をもつて

企業の活動は来る日も来る日も活発に続けられ、これに伴う経費は毎日支出されており、しかもこの経費は次第に上昇の傾向にありますので売上高の増進は何よりも必要であり、此

が達成されないと企業は生きていくことが出来ません。亦売上高の増進と共に最も大切なことは販売価格の維持です。最近の各業界に於て生産

・クロス、先にいつた自衛隊一日入隊の実況を八ミリフィルムに収め、その編集、録音構成を行った。撮影編集担当梶隊員、録音構成最上隊員、カット今田隊員、雑務佐々木隊員、馴れない仕事でもあり、大変な努力と苦心の程がしのばれた次第である。

記

四、第四回役員会、八月二十七日夜六時、於スタンダード石油会議室、毎例会日の選定について、会費の納入状況について、会報発行の原稿依頼等について、終了後一日入隊に於ける試写会を行う(九名)

五、第五回例会、九月十六日夜六時於泉屋、自衛隊幹部を迎えて、上田連隊長、横田一尉(会計隊長) 太田二尉(通信担当) 荒木三尉(広報担当) 三流の信条(別載)について、上田司令の訓辞を親しく拝聴、大いに心身の引きしまる

増のため販売戦に於て過当なる競争 が繰広げられている現状ですが、セ ールスマンは低価格販売という凶器 を七つ道具から取り去り、自己商品

増のため販売戦に於て過当なる競争が繰広げられている現状ですが、セールスマンは低価格販売という凶器を七つ道具から取り去り、自己商品

続

セールスマン心得帳

(その二)

の優秀さを大いに認識し、低価格という最後の切札を用いなくとも大きな自信をもって販売戦に望むことでセールスマンが販売に困難を感じ

ものを覚え、その精神に会員一同感銘を深くした次第である。 終了後食堂で歓談し、先般の謝恩の意味でささやかな二次会等により、相互の理解と親睦を深めた。尚、お招きした幹部と出席全会員により、試写会を行い、好評サクサク……

六、第六回例会、十月十六日夜六時於泉屋(出席二十一名) 談話者、横地青果(株)、横地会員「香港、台湾の視察について」先般、当横地会員が右記方面へ、国際空港より飛び立ち、道内より選ばれて「バナナの流通機構」について視察してこられたのでその土産話を伺った。バナナの話しはともかく、もろもろの四方山話に花が咲いて巧みな話術(侮)の経つのも忘れて、熱心に聴き入った次第である。

当日欠席の会員は、先方のホステスのサービス振等? 特に特

以上

去る八月十七日一日自衛官を体験して非常に心身とも若返った様な快感を覚えたものだった。

偶には全然異つた環境に自分を置いて見るのも大いに意義ある様だ。 そんな時意外に勉強させられる事が多い、自衛隊訪問も現代青年の指導とそのバックボーンの探究にあつたが、その点は充分把握し尚お且つ何処の社会も同じだが指導的幹部が卒先目的達成のため苦労が多いものだ

と理解されたが……… アスナロも漸く幹部の疲労が目立つて来た様な兆しが見える、会員各位の御協力を切にお願いしたい昨今である。

終り (手林俊夫)

終り (梶生)

緑 滴

年の瀬も迫つて何かと気ぜわしい。そして此の二、三日は又何と何と何と事である。衆議選に二十万都市の釧路より議員一名をも送られなかつたとは、又その親玉ケンネイ大統領暗殺さぞかと言ふ全く何が何だか解らない悲劇の連続に呆然自失の態で仕事もろくろく手につかぬ始末。

あすなろ三号も漸く発刊の運びとなつて三号紙と言われる如く同人紙は三号迄が命数なのか、その大半の原因は経済的理由によるのだが、吾がアスナロは原稿の集りが原因、文はやりたし書く手は持たぬ類で、期末ともなる殊更ら、繁忙故に此の傾向が益々強くなつてくる。

こんな時はせめてストレス症状を鎮静させる為にもペンをとり原稿用紙に取り組みの良薬だと私は想ふのだが。

去る八月十七日一日自衛官を体験して非常に心身とも若返った様な快感を覚えたものだった。

偶には全然異つた環境に自分を置いて見るのも大いに意義ある様だ。 そんな時意外に勉強させられる事が多い、自衛隊訪問も現代青年の指導とそのバックボーンの探究にあつたが、その点は充分把握し尚お且つ何処の社会も同じだが指導的幹部が卒先目的達成のため苦労が多いものだ

と理解されたが……… アスナロも漸く幹部の疲労が目立つて来た様な兆しが見える、会員各位の御協力を切にお願いしたい昨今である。

終り (手林俊夫)

終り (梶生)



商品のマーケティング

佐々木

最近の商品市場は新製品なるものが目立っている。これと関連して色々の宣伝がおこなわれている。これらの商品の動きを見ていると一種定型の過程をもつているとみられる。商品を価格やデザインの研究だけで効果の結果を得ることはむづかしいであろう。商品を平面的にはなく商品の過程を利益性との関連において研究するのも有益な方法と考えられる。

商品の過程は次のように考えられる。即ち商品は導入、成長、繁栄、衰退の各期をもつてその各期を相異なつた速さで経過する。この過程と利益とは単純な関係にある。単位当り純利益は成長期に鋭く上昇し、繁栄期には量と反比例して下降する。このように各期が異なつた性格をもつている以上各期の政策も各々重点とされることと異なる。第一の導入期の要因は、商品の製造を進めるための調査研究と売出す技術である。この期は利益ははでないだろう。

第二の成長期では、市場に出た商品の市場性を保つため必要だけ量産することである。この期に於て商品をいじくりまわして競争相手に市場を占領されるよりも、質よりの量が大切である。利益も急に増加する。併し危険性もあるが、この期での危

険性は入れられるであろう。

第三の繁栄期では、競争品も十分市場に出廻り優秀をつけがなくなるので、販売は特性とかモデルの変更が中心となる。又この期ではまだ十分ゆきわたつたと見られる市場に新しい開拓をおこなうと云う問題も生じてくる(化粧品を男性へ等の開拓)。利益は配給コスト高のため下降する。

最後の衰退期は、価格競争、消費者の選択買等により企業の各段階に於けるコスト削減が要請され、財務統制と調整された経営が必要とされる。

商品がかかる過程をもつものであるなら、商品の利益性はそのどの点にあるかによつて異なるという事実が商品政策にとつて必要な知識を与えてくれるであろう。しかし各期に合つた価格、品質、配給の改訂も行れるであろう。

商品のかかる性格を研究することが有益であり、今後研究され適当に使われるとして、経営者にとつて大切なことは商品のかかる過程を前もつて確認することであり、明確な予測をたてることである。このために商品のマーケティングを行う商品担当者と考え、かかる人を見つけ、訓練することが会社にとつて重要な問題でもある。

実務から見た

商品管理の留意点について

一、現金管理について

経営規模の如何を問わず、どんな店でも現金管理はしていることと思う。

一日の営業を終えて、その日の出入れと、金銭出納帳の引合い、そして合わなければ合うまでやるだろう。現金は毎日銀行に預入し、支払は小切手による、即ち実質的には現金管理は銀行が代つてやつて呉れることである。

二、商品管理について

ところが手持商品の場合はどうだろう。現金に対する数倍いや数千倍もの常時手持が普通である。

そして現金は決して利益を生むものではないが、商品はいくらから利益を生む大切な源泉である。又、現金は持つていられるだけでは減ることがない。然し商品は腐敗とか、目減り、流行おくれなど値打ちがどんどん下る。全く生きものである。

このように大切な商品であるにも拘らず、実際にどのような管理がなされていられるだろう。例えば店の通路に一元落ちていてもおそらく誰でも拾うことだろう。だが之が商品の場合どうか、

相当高額の商品であつても忙がしいときには、けとばして通ることもないとは云えない。

本来なら現金の何倍もの手間ひまを商品管理に掛けても然るべきなのに案外気が付かないのではなからうか。

三、数字が握む商品管理について
各種商品の売れ筋の発見と毎日の出入れ及び手持の把握、或は商品ロスの徹底的防止等、数字をもつての商品管理は極めて重要な役割をもつているといえる。

従つて具体的に数字として握んでいなければ本当の商品管理は出来ない。
売上げ利益を上げるために懸命の努力をしている。ところが実際に商品ロス率の多いことを知らない。

商品ロスを減らすことによつて売上利益率を増すことが出来るのである。

四、商品の回転率について
商品の回転率をよくすることは、利益の節約が出来、ロス率を低くする。

従つて回転率をよくするために、仕入の一切ストップするか最少限度にとどめる。そして毎日の売上によつて自然に手持の減るのを待つより止むを得ない。

但し、此の場合売れない商品ばかり手持となり売上げが減ることも当然考えられることであるが、これは手持商品の内容を検討する

ことを忘れ商品回転率にのみこだわりの商品の売れ筋を握んでいなかつたからである。

五、棚卸の目的について
棚卸は現在手持を知るのみが目的ではない。帳簿との照合差異を分析し、商品ロスの原因追究、或は売れ筋を掴み仕入計画を樹てるなど、極めて積極的な目的が含まれているのであり、棚卸は商品管理の区切りとなるのである。

六、商品管理の重要性について
このことは、商品管理がその儘会社、或は店の繁盛を左右することになるからである。
即ち異常な数字を発見したときは、直ちにその原因を追究することにより改善が生まれ、損失の防止が出来ることになる。

其処に高い商品回転率、低い商品ロス率、急速な売上げ成長率が生まれて来るのである。

河合生



台湾を旅して

横 地 重 幸

(3)

『*暑い台湾』 九月四日九時ノースウエスト機(百五十人乗)で羽田空港を出発、三時間で台北飛行場についた。暑いとは覚悟して居たが台北飛行場につき、タラップを下りた時には全く度胆をぬかれた。コンクリートの上を走る風は、北海道の山火事の火風の様だ。下りた足が響くと思わず引き込んだ。官公庁、大きな会社等は、八時出勤、正午より午後四時まで、午睡時間で皆吾家に帰り、昼寝をする。それで昼食は携行せず、家で食べる。四時に又出勤六時退勤で、一日六時間勤務だ。

『*汽車旅行』 客車は全部ディーゼル機関車で皆日本製だ。客車にはどの客車にも男女一名づつ、サービスポーイが居て、お茶をつめたいお絞りを全員にサービスして呉れる。又客車内は実によく掃除してあり、一日旅行しても、紙切れ一枚落ちて居ない。旅行者の衛生、清潔、公衆道徳は、実によく守られている。日本の旅行とは全く異い、一日乗つても始乗の時乗つた時と同じで、全く気分がよい。お茶は次々補充に来る。幾ら飲んでも無料だ。ツメタイお絞りも一度丈でなく一時間に一度位の割合で全員にサービスして呉れる。実に気分がよい旅行が出来た。

『*教育と労働力』 義務教育は六年で中学からは試験制度だ。初等中学は三年。高等中学二年。大学は四年だ。男は二十才になると二年軍隊生活だ。支那語は北京語だが英語は相当力を入れて居る様だ。人的資源は豊富で、給料等は非常に安いとの事。初等中学卒業して月三(四千円) (日本の円にして)で食べる丈だ。高等中学を卒業して、五(六千円)で、食べて少し残る位だ。大学を卒業して失業している者が、沢山いるらしい。労働力は実に豊富だ。それで電気洗濯機、電気掃除機等は、買う人がいないとのことだ。一ヶ月五〇〇円出せば、毎日来てその家の洗濯物を全部を洗い、干して行くそう。掃除の方も同じ様で、掃除機を買うよりも、一ヶ月掃除夫を使つた方が安くなるそう。

『*生活』 准戦時：』と云うところでどうか。皆よく働いて居り、日本で戦時中見た様な標語が、各所で見受けられ、よく頑張つて居る様で、人口の割合に、軍人が多し。税金等は高い様だ。生活必需品はあるが、贅沢品は見受けられせん。生活程度はよく分らないが、悪いとは見受けられせん。文化程度は日本と比べると相当の差があると思われた。

服装は男女共に、日本と殆んど異はない。一般人の交通は自転車と、三輪車で、ハイヤー、バス等は非常に少ない。台北市の人口は百三十万だが、街を歩いて見ると、車の数は、釧路の半分以下しか走っていない。まだ天秤で荷物を運ぶ人も居るが、山に居る。貨物自動車の数も実に少く、どの車を見ても、オンボロ自動車ばかりだ。最近日本商品が多くなり、日本との商取引が急に増加したので、若い青年間に、日本語熱が出た。夜学や、塾等で日本語を勉強する人が多くなつたそう。年令が三十才以上の人は、全部日本語が話してきます。

以上色々書いたが、日本を離れて見て初めて、日本の良さ、日本の有難さが、よく分る事を、最後に特に力説致し度いと思ひます。此の外に書き度い事も、沢山あるが今日はこれで失礼致します。

ビールについて

筆者は敷島商會専務 瀬村氏

サントリービールが四月から販売され酒類業界が愈々自由化躍進の時代に突入するに当り当社(敷島商會)で総売上げの八〇%を占めているビールについてのみみてみます。

先づ生産量ですが、ビールの消費量が、年々増大して年間何割かという急速な伸長率を示して年間約二五億本に達する消費量を見るに至つて居る。生活が万事合理化され冷蔵庫の普及とか今迄夏の飲み物とされてきたビールが、冬でも良く飲まれるなど、昭和四十一年頃には現在の二

倍はされるものと思われれます。北海道で飲むビールは「うまい」といわれ札幌の工場で飲むサツポロビールの味は忘れられないなどよく聞かれますが、サツポロビールの品質のよさは勿論ですが、ビールは新鮮な程「うまい」のです。北海道に限らず工場で飲むのが、新鮮さは勿論のこと製品管理も行き届いていま少し一番うまいわけです。それに気温と湿度の關係が重要なきめ手になります。気温が高く湿度が少ない時が良いわけで、一般に日本は湿度が高い方で、北海道だけはその例外です。従つて北海道はビールを飲むには格好の条件をそなえているわけです。本州でも空気の乾燥した時ならやはりうまい飲みます。

又ぬまぬまいビールはただだけません。そうかといつてつめたすぎるのも泡立ちが悪く味が良くわからぬものも。夏で八度九度冬で一〇度一三度位が適した温度といわれます。次にドイツではビールのアワをビールの花といつてとても大切にします。ビールの中の炭酸ガスがアワがあるために逃げないのです。つぐときもコップの二割位はアワでアワの下からグート飲むのが一番うまいのみ方です。

これからはストープの傍で風呂上り飲むビールの味は忘れられせん。會員諸兄も大いに飲んで大いに働きましょう。

身辺雑記

手 林 俊 夫

曆もつすくなつて、十月の訪れと共に今年も四分の一となつて了いま

した。九月の例会に札幌出張の為欠席しましたが、今迄になく多数の出席があり、大変盛況で、お招きした自衛隊幹部の方々から深謝されました。恐縮して居る次第です。堀編集長の八ミリも非常に良い出来栄で萬堂の参加者の「大かたさ」を浴びた事をききまして、大変嬉しく思つております。「あすなるクラブ」はききうつくしな会でない筈ですから、会合に出来るだけ皆が集つて大いに語り合ひ、啓蒙し合ひたいといつも念願しております。

去る十月三日に東栄小学校の開校六十周年の記念祝典があつた際に全児童に花瓶を記念品として贈つたが、某先生は花瓶より図書、火花をあけたり四百人も人を集めて催す熱意を真の学校づくり、地域づくりに集中出来ぬものかといつてたが、形式的なものに対する批判として我々も大いに考慮しなければならぬこととであろうか？

今年の四月に日赤病院で痔の手術して以来アルコール類から遠ざかつて居るが、なにぶん未だ若いので？そろそろ淋しい思いをして居るが、手術後の苦痛を思えばもう少しと思つてやせ我慢を出して居ますが、末広町のネオンの灯が恋しいですね。

今の処仕事オンリーという処で自分を慰めて居ります。

あすなるクラブのバツヂも日を経るに従つて「いぶし銀」の様になつて来ましたが、先日札幌の某商社へお伺いしたら私のバツヂを見てあすなるのバツヂですねといわれて大変いい気分でした。

秋風が愈々身に沁みて来ましたが、會員各位の御自愛と御活躍を切に祈つております。

十月八日

そばと物価論

今 田 英 三

社会党の諸氏が声をからして政府の物価問題を攻撃している。

その割合に五、六年前の大きなシヤモジを振りかざしての主婦連のデモステレシオンは見られない。

世の中が落付いたのか、ふところぐあいが良くなったのか、私の様に塩が幾らして、砂糖の価格がどの位しているのかさつぱりわからなくても身近に随分物価高になつて来てるのがわかる。

鉦路の名産の食物といえ、代表的なもの、そばだと思ふ。

私の店の社長が、川崎製鉄(日本の代表的な鉄鋼メーカー)の重役が鉦路に来た時、昼食を安本さん御世話願いますと取巻連にたのまれて、東家の竹老園へ案内した事があります。重役に随行した取巻連がハツとしたらしい。何げなく「昼食の時間になりましたから、そばでも喰べましょう。」といったので、一般的に安い食物はそばという觀念が頭にあるものだから驚いたらしい。もつと上等な物をすすめて呉れたらな//と想つたらしいが、行つてビックリ日本一のそば屋とメーカーの重役が大喜びで追加注文もあつて面目をほこしたという話……その位鉦路のそばは有名であり、又美味しいですが、この頃は東家のそばも高級品並以上、安い食物はカレーライス、高い食物はそばという位で気楽にそばでもとさそう事の出来ない喰物になつてし

またつた。

私の家も一家そろつてのそば好きで日曜等想い想いの物を注文するのですが、一回に伊藤博文が飛ぶ様では大衆的な庶民のたべ物とはいわれなくなつて来てます。随分前口上が長いのですが、鉦路のそばを比較して、この間本州製紙KKのFRレポート紙を拜見し、そばの値段と紙の値段というタイトルの随物を拜見、それをそのまま皆様にお見せしたいと思

い書いた次第です。本州さんの機関紙「ハト」では専門の紙の値段は明治初年にポンド当り八錢五厘であつたものが現在ではポンド当り二拾八円也で倍率三三〇倍で他のどの物価よりも安すぎる上がりもしない紙を作つている製紙メーカーの苦勞と努力を察して下さい、とメであるところ又仲々の宣伝と驚きました。

そばの件に逆もどして、上野駅をたつて、高崎へ行く途中に深谷

そばの値上がり(一杯当り)

年号	年	円	銭厘	倍	率
明治	元		5	1	
	10		8	1.6	
	20		1	2	
	27		1 2	2.4	
	31		1 5	3	
	37		2	4	
	39		3 5	7	
	40		3	6	
	45		3 5	7	
大正	5		3	6	
	6		4	8	
	8		5	10	
	9		7	14	
	12		8	16	
	14		10	20	
昭和	5		12	24	
	10		13	26	
	15		15	30	
	25	15	00	3,000	
	28	20	00	4,000	
	29	25	00	5,000	
	31	40	00	8,000	
	(38)	50	00	10,000	

という駅があり、有名な渋沢栄一翁の出生地へ行く沿路であり、またポプラ苗の栽培をしている櫛引野へ行く下車駅でもある深谷駅そのそばの店内にめづらしい掲示があつたので紹介しようとする土地の在所迄簡明して、左の様な表を記してあります。

私はこの表示を拜見させて戴き驚いた。いつたい一般物価はどのよう

に上昇しているのだろうか………そば一パイの問題というなれ私達とする会員が各々違つた業種で

商品の値段を調べて見たら、製紙メーカーの編集者の方以上にビックリ

する事が多いとおもいます。全国的なそばの価格です。で鉦路のそばは二万倍、気楽にそばでも喰べましようとは言かねる様です

ね、私は物価論よりも庶民の願いとして鉦路のそばは日本一の折紙をつ

終

私と映画

手 林 俊 夫

映画が最も好きだといつたら、きつと映画で腹が一杯にならなうと大方の人は笑うであろうが、私は昭和二十五年頃より昭和三十年頃迄は文字通り飯より好きな時代であつた。会社が退けると毎日映画館へ通つたものである。日曜日は勿論一館位、通い、時としては勤務中を失敬して試写会に出かけたものである

若くて張切つていた時代でもあつたが、良くも身体が続いたものだ。今更つづく振返つて感無量である。いつも此の気持で仕事をやつたら大成功疑いなしであるが、天は二物を

与えずで、亦以て汗顔のいたりである。戦前の映画に就ても色々な想出があるが、戦後の映画の中で今以て想出深いものに触れてみよう。じつと目をつぶると鮮やかに甦つて来る

印象は映画のみが持つ独特のものである。我々の過去の人生の歩みが

直接に良かれ悪かれ現在の人生に密着しているとは違つて、映画は常に第三者の立場を以て覗けたからである。昭和二十年に「煉瓦女工」

二十一年に最初の洋画「キユーリー夫人」二十二年に「今ひとたびの」

「心の旅路」二十三年に問題作黒沢明の「酔いどれ天使」二十四年に「王将」等の作品が相次いで封切されたが何んといつても二十五年以降に印象的な作品が多い。二十五年に

明るさと健康さの溢れた「青い山脈」新聞そのものを描き然も新鮮な作風に終始した「白昼の決斗」原爆の永井隆雄を描いた心に残る映画「長

崎の鐘」暴力否定に貫かれた「暴力の街」二十六年に失敗作であつたが意欲の烈しかった「白痴」心憎い迄の風景描写の後味の良ない「鉄格子の彼方」素晴らしい奔放なイメージにより光を獲得した「白雪姫」戦後のテクニカラーの傑作であるダニーケー

の「虹を携む男」等より二十七年、二十八年と洋画邦画共に大飛躍を遂げて来たが二十九年に超大作「風と共に去りぬ」を観賞した時は映画の持つ魅力、面白、要素に打つかり四時間の映写時間も「土」と共に終始したアメリカ南部の生き方とスカ

レットの「あすから飢えない」という悲痛な叫びと牧場の空の色のきれいさが今迄も脳裏に刻み込まれてるのである。次いで此の年に女の悲劇であり、貧乏の悲劇で樋口一葉の原作化「にこりえ」は傑作であつた。然

しながら何んといつても強烈な印象として今でも目玉に浮ぶのは高峰秀子の「二十四の瞳」である。胸を打つ師弟の純愛、打撃詩に包まれた

反戦映画であり最も郷愁をさそうものは昔の小学唱歌である「仰げば尊し」が歌われた時は場内の此処彼処からすすり泣が起きた事を今でも忘れないのである。

映画の想い出は次から次へと消え去らぬが三十二年頃より昨年頃迄は仕事の方が次々と種類が増え心ならずも多忙さに追われ、好きな映画に御無沙汰して見つけたが、今年に

年令的变化が最近はずらりマン物や風刺映画が好きになつた様である。殊に「森繁物は色んな点で興味深く見ている次第である。常に第三者で批判出来る映画を今後も努めて観て行きたいと思つて居る。女

房や子供はお父さんばかり映画を見て良いなあというが私も此も「仕事の内さ」と笑い飛ばすのである。私は且下東宝映画友の会鉦路支部長の要職にあるからである。38.10.31記